

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【公開番号】特開2015-228065(P2015-228065A)

【公開日】平成27年12月17日(2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2014-112610(P2014-112610)

【国際特許分類】

G 06 F 3/12 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

H 04 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/12 C

G 06 F 3/12 K

B 41 J 29/38 Z

H 04 N 1/00 107 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月26日(2017.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷データに従って印刷を実行するプリンターの制御装置であつて、

前記印刷データを前記プリンターへ送信する送信調整部を備え、

前記送信調整部は、前記印刷データに含まれるデータと同一のデータが、前記プリンターの記憶部に存在する場合には、前記印刷データを送信する前に、前記記憶部に存在する同一のデータを消去するコマンドを前記プリンターに送信する

ことを特徴とするプリンターの制御装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記送信調整部は、前記プリンターの記憶部に存在するデータの識別情報を取得し、当該識別情報に基づいて、前記記憶部に前記同一のデータが存在するか否かを判断する

ことを特徴とするプリンターの制御装置。

【請求項3】

請求項1または2において、

前記プリンターの前記記憶部は、第1記憶部と第2記憶部を備え、

前記送信調整部から送られる前記データに含まれるイメージデータが前記第1記憶部に記憶され、前記送信調整部から送られる他の前記データが前記第2記憶部に記憶される

ことを特徴とするプリンターの制御装置。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一項において、

前記送信調整部は、前記プリンターに前記記憶部の容量を問い合わせる空き容量確認コマンドを送信し、前記空き容量確認コマンドに対する返答を受信した後に、前記印刷データを前記プリンターに送信する

ことを特徴とするプリンターの制御装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項において、
前記印刷データは、複数のラベルを印刷するためのデータである
ことを特徴とするプリンターの制御装置。

【請求項 6】

印刷データに従って印刷を実行するプリンターと前記プリンターの制御装置と、を有するプリントシステムであって、
前記制御装置は、前記印刷データを前記プリンターへ送信する送信調整部を備え、
前記プリンターは、前記印刷データに含まれるデータを記憶する記憶部を備え、
前記送信調整部は、前記印刷データに含まれるデータと同一のデータが、前記プリンターの記憶部に存在する場合には、前記印刷データを送信する前に、前記記憶部に存在する同一のデータを消去するコマンドを前記プリンターに送信する
ことを特徴とするプリントシステム。

【請求項 7】

印刷データに従って印刷を実行するプリンターの制御装置における制御方法であって、
前記制御装置に、前記印刷データを前記プリンターへ送信する送信調整部が備えられ、
前記送信調整部が、前記印刷データに含まれるデータと同一のデータが、前記プリンターの記憶部に存在する場合には、前記印刷データを送信する前に、前記記憶部に存在する同一のデータを消去するコマンドを前記プリンターに送信する
ことを特徴とする制御方法。

【請求項 8】

印刷データに従って印刷を実行するプリンターの制御装置に処理を実行させる制御プログラムであって、
前記印刷データを前記プリンターへ送信する送信工程と、
前記送信工程の前に、前記印刷データに含まれるデータと同一のデータが、前記プリンターの記憶部に存在する場合には、前記記憶部に存在する同一のデータを消去するコマンドを前記プリンターに送信する消去工程と、を前記制御装置に実行させる
ことを特徴とする制御プログラム。